

The Japanese  
Society of  
Practitioners for  
Pediatric Dentistry

# JSPPP

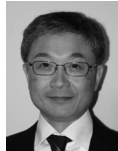
【入会方法】 JSPPPのHP (<http://www.jsppp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。  
年会費 10,000円、入会金 20,000円

## 小児歯科はどこに向ってゆくのか？

JSPPP小児歯科医療将来検討委員会

石通 宏行

広島県安芸郡開業・コアラ小児歯科



先日、中国地方の障害者歯科に関わる人たちの集まりがあり、久しぶりに上原進先生にお目にかかった。日大松戸を辞された後、川崎医療福祉大で教鞭を持たれていたが、現在は社会福祉法人の顧問をされている。いまだ勉学に対する情熱は衰えておられず、現在米国に留学中で、この集まりのために一時帰国されたのだそうだ。すこぶるお元気で、こちらがエネルギーを分けて頂いた気がした。

上原先生のお話は、世界での障害者歯科学会の発展と歴史、また主流となった考え方の変遷やその背景について、とても興味深いものであった。何年前にも小児歯科の中四国地方会で、黎明期の日本の小児歯科について、数々の面白いエピソードを交えてお話しされたことがあるが、今回はその障害者歯科版といったようなお話であった。ただ、日本での歴史については言及されず、『皆さんお考えください』と下駄を預けられたかたちであったので、何かの機会にぜひお話をお伺いしたいと思った。

先生の2つのお話を聞いて思ったのは、その時代どこに行っても治療をしてもらえなかった子供たちに、あるいは障害を持った人たちに何とか歯科医療を！という先人たちの情熱が学問や臨床の体系を発展させてきたということだ。

私などは小児歯科の歴史は恩師や先輩方に昔話のように語って頂いて知る事のできた世代であり、いわゆる第3世代に当たる。パイオニアとしての初代、その背中を見て育った2代目、そんな苦労知らずの3代目と世間では言うが、3代目で小児歯科がつぶれてしまう事はあってはいけない。

各大学の医局では歯学生の小児歯科離れが進んでいると言われ、また、医局に残っている人たちも小児歯科での開業に多くが不安を抱えていると聞く。

『少子高齢化の今からは補綴やろう。なんで補綴に行かんで小児歯科に行くん？』という回りの話を聞かず小

児歯科に残り、また開業時には『小児歯科の単科標榜はリスクが高すぎるのでここは無難に一般・小児でされた方が…』という周囲のアドバイスを無視して開業した身としては、後輩たちに小児歯科の明るい未来を！と頑張らなければいけない。

子供たちがどこの歯科医院を受診するかは親が決めている。では小児歯科というブランドはどのようにとらえられているのか？ 残念ながら小児歯科を標榜していて評判が良ければ単科標榜も一般・小児標榜もあまり区別していない。差が見えないからだ。取りにくい予約に合わせる時間のコストと、わざわざ遠くまで行く移動コストの対価を感じてもらえていないのだろう。

日経ビジネスの特集で最近のブランドの人気と傾向といった記事があった。クルマや時計、デパートといったステータス性の高いブランドの人气が低下する一方、地位を保っているのは東急ハンズや無印良品といったライフスタイル提案型ブランド、人気上昇中なのはユニクロやセブンイレブンといった機能性ブランドだそうだ。

大規模診療所が目指すのが機能性ブランドであるなら、小規模の個人診療所が目指すべきはライフスタイル提案型ブランドであろう。子供の特性や家庭環境を把握し、ふさわしい保健指導を行い、成長に合わせた治療や予防サービスを提供する小児歯科が、小児歯科というブランドの認知にふさわしいのではないかと思う。学歴や長い研修期間を誇らしく掲げるような旧来のブランド価値では未来はない。

と、まあこんな事を考えながらJSPPP小児歯科医療将来検討委員会として、会員の日常診療や医院経営に役立つ情報を提供してゆきたいと思います。

### JSPPPの活動

JSPPP (全国小児歯科開業医会) は小児の保健の向上と小児歯科臨床のより良い発展のための活動を行っています。

#### ①総会・研修会の開催

小児歯科臨床と小児の保健に関する研究会を開催し、会員相互の親睦とともに小児歯科医療保健の研鑽に努めています。

#### ②患者紹介ネットワーク

全国の会員をネットワークで結び、患者さんの紹介や情報の交換を行っています。

#### ③研究助成

大学や研究機関での研究を助成して、若い研究肩の育成に協力しています。

#### ④月刊「小児歯科臨床」の編集協力を行っています。